

【短報】福岡県におけるエチゴトックリゴミムシの記録

大変古い記録で恐縮だが、筆者は福岡県福岡市沖の離島、能古島でエチゴトックリゴミムシ *Oodes echigonus* Habu et Baba を採集しているので、採集例を報告する。本種はこれまで、兵庫県以東の本州からのみ局地的に知られていた（森，2011）。

1♀，福岡県福岡市西区能古島，2. VII. 1994，筆者採集・保管

午後8時頃，海岸そばの運動場の水銀灯下を歩行中のものを採集した。当初，保育社の甲虫図鑑2巻（上野ほか，1986）に記載されていた分布，および図版の絵合わせによって安直に同定を行ったため，同属のオオトックリゴミムシ *O. vicarinus* Bates もしくはオオヒラタトックリゴミムシ *O. virens* Wiedemann として誤って同定してしまった（藤本，1995；安部ほか，1996）。その後，中根（1986）の検索表，およびオオトックリ，エチゴトックリのそれぞれの比較標本を基に改めて同定をやり直した結果，第8間室が狭まらない点，および下唇基節先端や前胸隆起の形状から本種と同定されたものである。

本種は，好湿地性のゴミムシとして知られている。森（2011）は，兵庫県内での採集例をもとに「平地に立地し比較的規模が大きく，周囲を豊かな草地に覆われた溜池環境」を，本種の最も好む生息環境と推測している，当時，能古島ではアシ原やため池が小規模ながらも良好な状態で残っていたので，そのような環境の水際に生息していた個体が灯火に飛来したものと思われる。残念ながら，能古島の水辺環境は当時と比べかなり悪化してしまったため（藤本，2003）再発見は厳しいものの，今後，九州本土においても大型ゲンゴロウ類の得られるような良好な環境の湿地やため池などを調査することで，追加記録が期待される。

末筆になったが，九州における分布記録についてご教示いただいた西田光康氏，今坂正一氏，エチゴトックリゴミムシ



図1. エチゴトックリゴミムシ。

の本州産の比較標本を送っていただき，同定についてのアドバイス等，種々ご教示して頂いた森田誠司氏に厚くお礼申し上げると共に，誤同定による混乱を引き起こしたうえ，正確な同定に基づく発表が大変遅くなってしまったことを深くお詫び申し上げます。

引用文献

- 安部雅幸・藤本博文・杉本広樹，1996. 福岡市で採集した昆虫—南公園・油山・能古島における記録. VITAE, 37: 17-54. 九州大学生物研究部.
- 藤本博文，1995. 能古島のオサムシ上科甲虫（第一報）. VITAE, 36: 30-35.
- 藤本博文，1999. 能古島で記録された甲虫類. 新筑紫の昆虫, (6): 17-38. 筑紫昆虫同好会.
- 藤本博文，2003. 能古島産甲虫類・追加目録. KORASANA, (71): 39-56. 久留米昆蟲同好会.
- 森 正人，2011. 兵庫県のトックリゴミムシ類. きべりはむし, 34(1): 9-11.
- 中根猛彦，1986. 日本の甲虫(72). 昆虫と自然, 21(2): 19-24.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝，1985. 原色日本甲虫図鑑, II. 保育社.

（藤本博文 769-0213 綾歌郡宇多津町大字東分 1535-1 B-101）

【短報】沖縄島におけるニセキンモリヒラタゴミムシの記録

ニセキンモリヒラタゴミムシ *Colpodes (Glaucagonum) sylphides* (Habu, 1975) は奄美大島から新種として記載された種である（Habu, 1975）。



図1. 沖縄島産のニセキンモリヒラタゴミムシ（右♀，左♂）。

以来、採集記録は Habu (1978), 吉武ら (2011), 初宿 (2012) と報告されているが、いずれも奄美大島からの記録で、奄美大島固有種と考えられていた。筆者は沖縄島から採集された本種を検したのて報告する。

3 ♀, 沖縄県国頭郡東村高江, 4. II. 2013, 岸田泰則採集; 1♂1♀, 同地, 17. II. 2013, 岸田泰則採集。

いずれの個体も森林内に設置したライトトラップに飛来したもので、気温の低い2月の初旬から中旬に活発に飛翔していることは注目される。なお、2月4日の同じ採集ではオオアオモリヒラタゴミムシ *Colpodes buchanani* Hope も3♂3♀がライトトラップに飛来した。本種は沖縄島ではよく見られ、よく似た2種がそろって冬期に活動していることに興味を持たれる。

この採集地付近は、米軍輸送機オスプレイの着陸帯として工事が進められつつある地域である。工事と大型機の発着により、先に報告したケナシツヤヒラタゴミムシやリュウキュウカワツブゴミムシ等とともに、沖縄ではこの地域だけにしか記録のないゴミムシ類の生息環境の破壊が心配される。

本種の奄美大島における採集地は、いずれも島の中南部の山間部に位置する住用村八津野(当時の地名)で、本種の記録された当時は大規模な原生林の伐採が行われていた地域である。記載に用いられたタイプ標本等はその時期に採集されたものである。本種が記録された奄美大島と沖縄島の二つの地域において、最初に記録された時の条件が、いずれも開発という名で森林の喪失しつつある時であることが符合している。このような時のみ希少な種が見いだされるというのは悲しい。

報告にあたり、貴重な標本を発表する機会を与えられた岸田泰則氏、今回の冬期の調査を計画された宮城秋乃氏、また森正人氏には同定と文献をご教示いただいたことを記して各位に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Habu, A. 1975. On the species of the *syphis*-group of *Platynus*, mainly on the *syphis* complex of Japan. Ent. Rev. Japan, 28(1/2): 19–23
- Habu, A. 1978. Fauna Japonica Carabidae: Platynini (Insecta: Coleoptera). Keigaku Publishing, 447 pp.
- 吉武 啓・栗原 隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司, 2011. 研究資料農業環境技術研究所蔵の土生翅甲コレクション(昆虫綱: コウチュウ目: オサムシ科) 標本目録. 農業環境技術研究報告, (28), 327 pp., 独立行政法人農業環境技術研究所.
- 初宿成彦編, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録代 44 集, p. 5–170.

大阪市立自然史博物館.

(楠井善久 903-0805 那覇市首里鳥堀町 4-123-1 東苑荘 1-E)

【短報】久米島のゴミムシダマシ(ゴミムシダマシ亜科)の採集記録

2010年6月14～17日に久米島で採集したゴミムシダマシ科15種の記録を報告する。佐藤(1996, 2006)によると、同島からはゴミムシダマシ亜科40種が記録されており、今回報告する種のうちの6種については、同島における未記録種(*)と思われる。

近藤茂昭氏・益本仁雄博士に同定頂いた。ここに深謝申し上げます。

1. アマミホソゴミムシダマシ *Corticeus amamiensis* (Kaszab, 1964)*
1ex., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010. 1ex., ダルマ山, 16. VI. 2010.
2. アメイロホソゴミムシダマシ *Corticeus gentilis* Lewis, 1894*
7exs., ダルマ山, 16. VI. 2010. 2exs., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
3. イシガキホソゴミムシダマシ 八重山亜種 *Corticeus maehleri mayumiae* (Masumoto, 1983)*
1ex., 仲地, 16. VI. 2010.
4. ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta induta* (Wiedemann, 1819)
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010. 4exs., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 16. VI. 2010.
5. モンキゴミムシダマシ 南西諸島亜種 *Diaperis lewisi intersecta* Gebien, 1914
5exs., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 6exs., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
6. アオツヤキノコゴミムシダマシ *Platydemia marseuli* Lewis, 1894
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010. 23exs., 宇江城, 15. VI. 2010.
7. ザウテルキノコゴミムシダマシ 琉球亜種 *Platydemia sauteri omoto* Nakane, 1973*